SAPPORO

2026年度第13回
定例市長記者会見

令和８年１１月１０日（火曜日）

札 幌 市

2026さっぽろホワイトイルミネーション
2026ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo

会　場	会　期
大通会場	11月20日(金)～12月25日(金)
駅前通会場	11月20日(金)～2027年２月11日(木・祝)
南一条通り会場	11月20日(金) ～2027年３月14日(日)
札幌駅南口駅前広場会場	
赤れんがエリア会場	
札幌市北３条広場（アカプラ）会場	
赤れんが庁舎会場	11月20日(金)～2027年２月28日(日)
中島公園会場	2027年１月９日(土)～１月28日(木)



2026さっぽろホワイトイルミネーション

■大通会場３丁目・駅前通会場のリニューアル

・大通会場３丁目

『ワンダー・ストリームズ-光湧く泉-』

光の泉を表現した巨大なオブジェが登場

・駅前通会場

南１条～南４条エリアで、色の変化も楽しめるように進化



※イメージ



※イメージ

2026さっぽろホワイトイルミネーション

■新たに中島公園会場を展開

《ＳＮＯＷＦＩＳＨ》

札幌国際芸術祭（ＳＩＡＦ）監修。
オーストラリアのアート集団ＥＮＥＳＳの新作が世界初公開。

さわって、感じて、楽しむ。
ふしぎな光の生きものたち。


※イメージ

【実施日時】
2027年１月９日(土)～１月28日(木)
１０：００～２０：００

2026ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo

■会場を大通公園１丁目に拡大（にぎわい創出・快適性の向上）

・１丁目会場

ミュンヘンと札幌が融合したシンボルツリー



※イメージ

・２丁目会場

グルメや雑貨巡りが楽しめる会場


※イメージ









●「2026さっぽろホワイトイルミネーション(第46回)」「2026ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo(第25回)」について

大通公園をメイン会場に、11月20日（金）から2027年3月14日（日）まで「2026さっぽろホワイトイルミネーション」を開催します。札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力を発信しており、札幌の冬をロマンチックに彩る「光の芸術」を、多くの市民・観光客の皆さまに楽しんでいただきたいと考えています。

今回からは、中島公園会場を新たに追加するほか、大通公園会場や駅前通会場ではオブジェや電飾をリニューアルするなど大幅刷新を行います。

また、大通公園西1・2丁目では11月20日（金）から12月25日（金）まで「2026ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」を開催します。国内外から45店舗が出店し、ドイツのホットワイン「グリューワイン」やドイツ料理、クリスマス雑貨などを販売するほか、ドイツの雰囲気を感じることのできるさまざまなイベントを実施します。

1　2026さっぽろホワイトイルミネーションについて

(1) 会場・会期（各会場コンセプトは別紙参照）

<table>
<tr><th colspan="2">会場</th><th>会期</th></tr>
<tr><td colspan="2">大通会場（大通西1～5丁目）</td><td>2026年11月20日（金）
～12月25日（金）【36日間】</td></tr>
<tr><td colspan="2">駅前通会場（北4条～南4条）</td><td>2026年11月20日（金）
～2027年2月11日(木・祝)【84日間】</td></tr>
<tr><td colspan="2">南一条通会場（南1条西1～3丁目）</td><td rowspan="3">2026年11月20日（金）
～2027年3月14日（日）【115日間】</td></tr>
<tr><td colspan="2">札幌駅南口駅前広場会場（北5条西3丁目）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">赤れんがエリア会場</td><td>札幌市北3条広場（アカプラ）会場
（北2条西4丁目・北3条西4丁目）</td></tr>
<tr><td>赤れんが庁舎会場
（北3条西6丁目）</td><td>2026年11月20日（金）
～2027年2月28日（日）【101日間】</td></tr>
<tr><td colspan="2">中島公園会場（中島公園1）</td><td>2027年1月9日（土）
～1月28日（木）【20日間】</td></tr>
</table>

(2) 点灯時間・使用電球個数

① 点灯時間

ア　大通会場：16：30～22：00　※12月23日(水)～25日(金)は24：00まで

イ　駅前通会場：16：30～22：00　※12月23日(水)～25日(金)は24：00まで

ウ　南一条通会場：16：30～22：00　※12月20日(日)～25日(金)は24：00まで

エ　赤れんがエリア会場

(ｱ)札幌市北3条広場（アカプラ）会場：16：30～22：00

※期間中、日没時間に合わせて開始時刻を変更

(ｲ)赤れんが庁舎会場：16：30～22：00

オ　札幌駅南口駅前広場会場：16：30～24：00

※期間中、日没時間に合わせて開始時刻を変更

カ　中島公園会場：10：00～20：00

② 使用LED数：約82万個

2　2026ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporoについて







（1）開催期間
　11月20日（金）～12月25日（金）（36日間）
（2）開催時間
　11：00～21：00（飲食店のラストオーダー20：45）
（3）会場
　大通公園西1・2丁目
（4）出店舗数

	海外出店者	国内出店者	合　　計
物品販売店	1店舗	24店舗	25店舗
飲　食　店	1店舗	19店舗	20店舗
合　　計	2店舗	43店舗	45店舗

（5）各種イベント等
①1丁目会場「リヒターボーゲン広場」
<u>シンボルツリー『リヒターバウム』</u>
　本場ミュンヘンの伝統と札幌の冬景色が融合したシンボルツリー。4つの木製アーチがクリスマスの1日を物語のように演出し、木漏れ日のような温かな光で会場を包み込む。
②2丁目会場「トゥインクルマーケット」
<u>メインオブジェ『トゥインクルラウンジ』</u>
　2丁目会場の中心に登場するメインオブジェ兼休憩スペース。きらめく光に包まれた幻想的な雰囲気の中、クリスマスマーケットの賑わいを感じながら憩いのひとときを提供する。
③各種イベント
　イベントスペースは1丁目に集約する。屋外ステージや屋内パビリオンで、ドイツ文化や国際交流をテーマとしたステージイベントやワークショップを多数実施するほか、サンタクロースとのグリーティングやプレゼントデー、イルミネーション点灯式など、クリスマス気分を満喫できる多彩な企画を展開する。
④オリジナルグッズ販売
　会場限定のオリジナルグッズを販売する。定番のマグカップ、A4クリアファイル、エコバッグ、お菓子缶、缶バッジなど、ここでしか手に入らない特別なアイテムを取り揃える。
⑤謎解きイベント
　クリスマス市会場やイルミネーション大通会場を巡るクイズラリーに加え、市内商業施設とも連動したイベントを実施する。会場周遊とまち歩きを楽しみながら、札幌の冬の魅力を体感できる参加型企画とする。
⑥姉妹都市紹介パネルの設置
　ヴァイナハツパビリオン内に札幌の姉妹都市であるミュンヘン市の紹介パネルを設置し、来場者へ札幌市の国際交流の取り組みを紹介する。

3　オープニングセレモニー

（1）日時：11月20日（金）16：30～
（2）場所：大通公園西3丁目「ワンダー・ストリームズ」前
（3）内容：主催者あいさつ、開催宣言、点灯カウントダウン、コラボレートソングの紹介

４　環境に配慮した取り組み

(1) サステオ（次世代バイオ燃料）による燃料発電／使用済み食用油の回収

大通公園に発電機を設置し、大通会場5丁目の休憩所で使用する電力を自家発電で賄うほか、今回から燃料には「廃食油」を主な原料に作られ、化石由来軽油の使用量とCO_2排出量を約51％削減できる「サステオ（次世代バイオ燃料）」を使用する。また、会期中は大通西5丁目休憩所内において市民から使用済み食用油を回収しリサイクルすることで、環境に優しい地域参加型のエコ・イルミの実現を目指す。

(2) リターナブル食器／ライスレジン食器の使用

ゴミの削減を図るため、ミュンヘン・クリスマス市の飲食物提供には、洗浄し再利用できるリターナブル食器を使用する。従来のメラミン素材の食器から、お米由来の国産バイオマスプラスチックを使用したライスレジン製のリターナブル食器への切り替えを進める。

(3) ペレットストーブの設置

ミュンヘン・クリスマス市会場内パビリオンの暖房には、間伐材を活用した木質ペレットを燃料として使用し、環境負荷が少ない木質ペレットストーブを設置する。

(4) カーボンオフセットの実施

会場で使用される電気やポスター・ガイドブック印刷にかかるCO_2排出量に相当するクレジットを購入し、北海道内のCO_2削減活動の支援を行う。

(5) ボタニカルライトクリスマスツリーの展示

ミュンヘン・クリスマス市会場パビリオン内に、植物と共存する微生物が生命活動をする際に、土や水の中で放出される電子を利用して発電するボタニカルライトを装飾したクリスマスツリーを展示する。エコ・イルミネーションの活動として、CO_2の排出削減に貢献する。

(6) More Stars（気象・環境条件により変化するイルミネーション）の設置

来場者が気象環境の変化について考える機会となるような新規企画として、気温と湿度のデータをリアルタイムで取得し、その数値に応じて光の色や演出が変化するオブジェを大通会場5丁目に設置する。また、オブジェの電源にはソーラーパネルによる太陽光発電を一部活用する。

【問い合わせ先】
さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会事務局（札幌観光協会内）藤枝・尾上
電話：281-6400、ファクス：231-1970
経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課　大内・森
電話：211-2376、ファクス：218-5129

別紙

「2026さっぽろホワイトイルミネーション」の会場コンセプト

1　大通会場（1～5丁目）



①1丁目会場「リヒターボーゲン広場」【新規】

シンボルツリー『リヒターバウム』

本場ミュンヘンの伝統と札幌の冬景色が融合したシンボルツリー。4つの木製アーチがクリスマスの1日を物語のように演出し、木漏れ日のような温かな光で会場を包み込む。



②2丁目会場「トゥインクルマーケット」【新規】

メインオブジェ『トゥインクルラウンジ』

2丁目会場の中心に登場するメインオブジェ兼休憩スペース。きらめく光に包まれた幻想的な雰囲気の中、クリスマスマーケットの賑わいを感じながら憩いのひとときを提供する。

③3丁目会場「輝きがあふれる『ワンダー・ストリームズ-光湧く泉-』」【新規】



大地から湧き出るようなダイナミックな光の波をアーチ形状の造形で表現し、中心から空間全体へ広がりゆく印象を強調する。光の波のアーチの下をくぐることもでき、訪れる人々が視覚だけではなく、様々な関わり方で光を感じ、戯れ、その世界に入り込める空間を創出する。

なお、12月11日（金）から13日（日）までの3日間定で、スペシャルライトショーを開催。ムービングライトによる動きのある光の演出を加えることで、「ワンダー・ストリームズ」の世界観をより印象的に表現する。

④4丁目会場「夢見る『スノー・ファンタジア』」



雪の結晶をモチーフにした光のトンネルを設置し、幻想的な雪の回廊を表現する。外から見た時の白と緑を基調とした光の演出を見て、実際に光のトンネルに足を運び、その中を通り抜けることで、より「没入感」を感じられる会場とする。

【新規】中央の噴水や回廊周辺のイルミネーションを刷新し、
多彩な色彩変化を楽しめる演出を展開する。
より鮮やかで幻想的な光の空間を創出し、会場全体の魅力向上を図る。

⑤5丁目会場「星降る『コズミック・スクエア』」



星や宇宙をモチーフに、インタラクティブな仕掛けを核とした体験・体感型の広場とする。透明なドームには光る球体が散りばめられ、人の動きに反応してドーム内の光の演出がはじまり、会場内に散りばめられたフレームドームとシャイニングボールが一体感のある会場を演出する。湿度や温度によって光の色・演出が変化するオブジェ「More Stars」も設置する。

【新規】「体験型イルミネーション」の新たな試みとして、
透明ドーム内にだれでも自由に演奏できる電子キーボードを設置。
来場者が演奏した音にあわせて周囲のイルミネーションの演出が変化する。

2　駅前通会場



JR札幌駅前からすすきのまでの中央分離帯の立木に、約27万個のLEDで装飾し、札幌の冬のメインストリートとする。
【新規】大通の中央分離帯の立木に加え、今回は南1条～南4条間にも色が変化するLEDを追加し、クリスマスカラー等のカラフルな演出で彩る。

3　南一条通会場



南一条西1丁目～3丁目間の、南北歩道両脇の46本の街路樹（イチョウ）に、約7万個のLEDで華やかに装飾する。まばゆい光で美しく輝く約300mの光の道を幻想的に演出する。

4　赤れんがエリア会場

①札幌市北3条広場（アカプラ）会場「アカプライルミネーション」



「Luminous Resonance(ルミナス・レゾナンス)共鳴する光」をテーマに、光と音を連動させた演出で、夜のアカプラを美しく彩り心に残る空間を創り出す。道庁赤れんが庁舎を背景に、装飾された銀杏並木がアカプラに幻想的な空間を生み出す。

②赤れんが庁舎会場「赤れんがイルミネーション」【新規】



夜の赤れんが庁舎を幻想的な青い光が包み込む。
11月20日（金）から12月28日（月）までは期間限定でクリスマスツリーも登場し、期間内は館内でも各種イベントを開催。
歴史的建造物と光が織りなす、冬の札幌ならではの特別な景色が広がる。

5　札幌駅南口駅前広場会場「サツエキイルミネーション」



プログラムで様々な模様を表現するカラーウォールなど、色とりどりのイルミネーションが札幌駅南口駅前広場の冬を幻想的に演出する。

6　中島公園会場（運営主体：札幌国際芸術祭実行委員会）【新規】



札幌国際芸術祭（SIAF）2027が監修し、オーストラリアのアート集団ENESSによる最新作「SNOWFISH（スノー・フィッシュ）」を世界初公開する。
魚や北海道のウニをモチーフにした光るバルーン作品を会場内に展示し、来場者の動きに反応して光と音が変化する、インタラクティブな空間を演出する。一部のバルーンは内部に入ることができ、外側と内側で異なる体験を楽しめる。AIを取り入れた仕掛けも展開し、光や音とともに作品の世界を体感できる会場とする。